



うきうき コドモックル

季刊 第28号

2014年9月発行

【ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ～笑顔が笑顔を生むように、病気の子どもと家族を支える滞在施設～】

昨年の12月18日 さっぽろハウスも無事5年の節目を迎えることができました。

2008年12月18日に、高橋はるみ知事も来館され開所式を行い、翌年の1月19日より、コドモックルの患者家族の受け入れを開始、これまで（2014年7月現在）延べ家族数 2,757家族 7,044人の方々がハウスを利用されました。

ハウスは「募金・寄付・ボランティア」によって運営されており、これまでたくさんの企業や個人の方々から善意が寄せられてきました。

柱となるボランティアさんも、240名以上が活躍されており、日々 患者、家族のために努力しております。

患者家族からも、たくさんの感謝の言葉をいただいております。



今後とも、子どもたちとその家族が安心して治療に専念できるよう「我が家のようにくつろげる第2の家」という理念のもと、サポート体制を整えていきたいと考えております。

これからも支える家族を支えるためには、たくさんのみなさまの協力が必要です。

善意の輪が広がっていくことを切に願っております。



<http://www.dmhci.or.jp>

ツイッターアカウント @dmh_sapporo

【夏祭り】

平成26年7月24日（木）夏祭り花火大会が行われました。今年はおかま会が「射的」「ボーリング」「ヨーヨーつり」の夜店を出してお客さんを迎えました。最後の花火大会もとてもきれいでした！



【ポニー】

平成26年8月8日（金）札幌稲穂高等支援学校のグラウンドに、「バリアフリー馬車」

（うまの背 うらかわ乗馬支援会）がやってきました。

前日からの雨が上がったグラウンドでは午前11時より

オープニングセレモニーが始まり、その後「バリアフリー馬車」が子供たちをのせてグラウンドを回ってくれました。「バリアフリー馬車」は後ろにスロープが付いているので、

車椅子のまま乗り降りすることができます。二頭のポニーが交替で、

ゆっくり馬車を引いて歩いてくれました。子供たちは「お馬がいたよ」

「ガットンゴットンしたよ」と嬉しそうに乗り心地を教えてくださいました。

途中でスコール様の激しい雨が降る時間もありましたが、アンサンブルの素敵な演奏を挟んで午前と午後の二回、合わせて86名が

「バリアフリー馬車」を体験しました。会場内には他に、ポニーとのふれあいスペース、「ひも馬」を作る工作、くじ引きなどもありました。

時折ポニーが「ヒヒーン！」といななく雰囲気を楽しみながら、会場をいろいろ回って楽しみました。



カラフルな「ひも馬」は、スタッフさんが丁寧に作り方を教えてくださいました。好きな色を組み合わせることができ、帽子にも飾れます。



ポニーの「サンジ」と「ダンデー」が、交替で馬車を引いてくれました。ふれあいスペースではポニーに人参を食べさせてあげることも出来ました。

本当にありがとうございました。

〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目240番6

北海道立子ども総合医療・療育センター

（コドモックル） Tel. 011-691-5696

ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/hkr/>